

協定企業名	日本道路株式会社
交流行事名	第5回「日本道路の森」間伐体験交流会
開催日	平成26年9月13日（土）
開催場所	梶原町仲間 仲間造林生産組合分収林地（日本道路の森）
主な参加者・人数	日本道路株式会社（社員）25名 ※うちH26新入社員10名 梶原町ほか関係者（梶原町職員、仲間造林生産組合）12名、高知県1名 総勢38名
概要	【12日】町内視察 【13日】間伐交流会
当日の様子	<p>当日、朝9時に梶原町役場前に集合し、5台の乗用車に分乗して、間伐を行う現場「日本道路の森」に向かいました。</p> <p>現場に着くと、森の管理をお願いしている仲間造林生産組合代表の土釜さんから、歓迎の挨拶があり、さっそく間伐体験に移りました。</p> <p>まずは、お手本として、造林生産組合の方がチェーンソーを使って、樹齢50年ほどのヒノキの大木を伐って見せてくれました。ドスンと大きな音を立てて倒れるさまを見て、初めて交流会に参加した方は、一瞬、驚いた様子でした。</p> <p>この後、参加者の中から有志2名（両名とも新入社員）が急峻な斜面にあがり、初めて使うチェーンソーに戸惑いながらも、造林生産組合の方の指導のもと、無事、木を伐り倒すことができました。</p> <p>続いて、参加者が一人ずつ、伐り倒した木をチェーンソーで輪切りにする作業を体験しました。はじめは大きなエンジン音を立てるチェーンソーに恐る恐るでしたが、皆さん、上手に輪切りにすることができました。</p> <p>また、造林生産組合の方が、グラップルという林業機械（重機）を使って、輪切りにした小さな木片を4段に積み重ねるといった妙技を披露してくださいました。</p>
	    

これで、午前中の間伐体験は終了。いよいよ、お楽しみにバーベキュー（昼食）タイム。地元のカルスト牛の柔らかい肉に、皆さん、大満足の様子でした。

楽しい時間は、あっという間に過ぎて、交流会もいよいよ閉会式へ。

造林生産組合の土釜さんからお別れのあいさつがあり、日本道路の社員に皆さんにお土産が渡されました。

梶原町からは、「日本道路の森」の間伐材で作った名刺の台紙2000枚が、日本道路の皆さんに贈呈されました。

最後に、日本道路の矢野専務からお礼のあいさつがあり、梶原町における協働の森づくり事業に引き続き支援できるようがんばりたいとの力強いお言葉をいただきました。



日本道路の社員の皆さん、お疲れさまでした。  
来年も、是非、梶原町へお出てください。

